

# 金融業界におけるIoT活用事例整理と ビジネス創出のためのフレームワークの提案

KDDI株式会社

長本一馬

ka-nagamoto@kddi.com

## 開発における問題点

現場での知見及び、IDC Japanの「国内IoT市場の企業ユーザー動向調査結果」(2015年8月公表)においても、金融業界におけるIoT利用率は1.3%とIoTの検討・導入が進んでいない現状がある。その背景には業界の特殊性とIoTビジネスの親和性が低いという固定観念があると考えられる。

## 手法・ツールの適用による解決

- ①各業種における目的別の活用事例という形で整理し、それを着想の基点として活用することで固定観念の払拭を図る
- ②先行研究より、金融×IoTビジネス推進のためのフレームワークを調査したところ、該当するものがなかったため、独自のフロー及びフレームワークを作成。

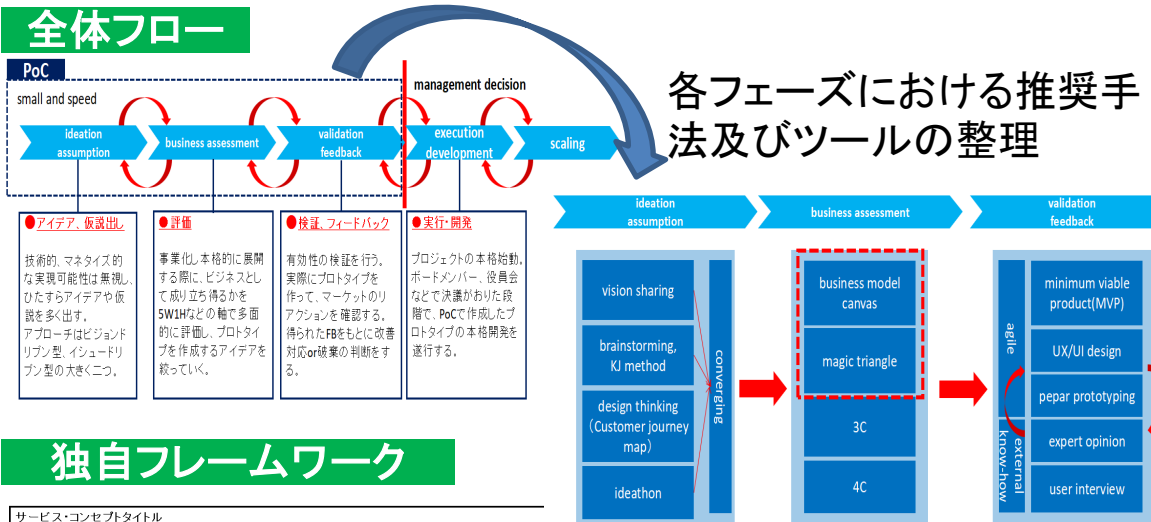
## 活用事例の整理及び金融×IoTビジネス推進フロー

### ①金融×IoT活用事例の整理

業種・目的	データ収集・可視化	製品改良・品質向上	生産性向上・業務効率化	コスト削減	遠隔監視・予知保全
銀行	顧客の健康状態、生活、行動の可視化 店舗内の顧客動線分析 営業職員の位置情報可視化	店舗接近時の最適な金融商品のオファー (Westpac Australia) スマートATM (Diebold社) 決済、金融取引の自動化	繁忙時期、時間帯による店舗人員の稼働調整 事務用品の在庫管理 ウェアラブル端末による従業員の健康推進 フリーアドレスによる働き方改革 サイン設置による配信内容一元管理	営業店舗の光熱費削減 アプリを利用した訪問予約による人員稼働時間削減	無人店舗の管理、監視 ATMの稼働状況監視、振り込み詐欺監視
信託	顧客資産情報をリアルタイムで可視化 店舗内の顧客動線分析	タブレット配布による優良顧客の囲い込み	事務用品の在庫管理 ウェアラブル端末による従業員の健康推進 フリーアドレスによる働き方改革	営業店舗の光熱費削減 アプリを利用した訪問予約による人員稼働時間削減	
証券	トレーダーの属性 (興味嗜好、リスク許容度)、取引の可視化 営業職員の位置情報可視化	顧客の財務状況、リスク特性に応じた最適な金融商品の提案 タブレット配布による優良顧客の囲い込み	事務用品の在庫管理 ウェアラブル端末による従業員の健康推進 フリーアドレスによる働き方改革	営業店舗の光熱費削減 リアルタイムでのマーケット監視、不正取引、インサイダー監視 (egplant社)	

金融業界に特化した要素

### ②金融×IoTビジネス推進フロー



- 論文調査、社内でのブレインストーミング、実際の事例、業界雑誌から事例を抽出
- 7業種(銀行、信託、証券、生保、損保、リース、カード)に対し、目的5項目(可視化、品質向上、生産性向上、コスト削減、遠隔監視)で整理

既存のビジネスモデルキャンバスに金融×IoTに特化した独自要素を加えたフレームワークの作成

## まとめ

- 過去事例や参考文献の調査では、デバイスとして広く普及しているモバイルに組み込むアプリを基点としてお客様の情報を収集し、アクションを起こすというインタラクティブな仕組みを構築しているケースが多かった。
- 金融×IoTについては事業規模の観点から将来的に大きくスケールしていく可能性がある一方で、事例やビジネス構築の手法、ツールについてはまだまだ一般的ではないことを改めて認識した。
- 今回作成した事例分析とフレームワークから情報の非対称性の解消のほか、様々な活用余地を見出すことができたので制作物をもとにお客様と対話を重ね、よりクオリティの高い事例やフレームワークにブラッシュアップしていくことで、金融業界に対するIoTの推進をしていきたい。